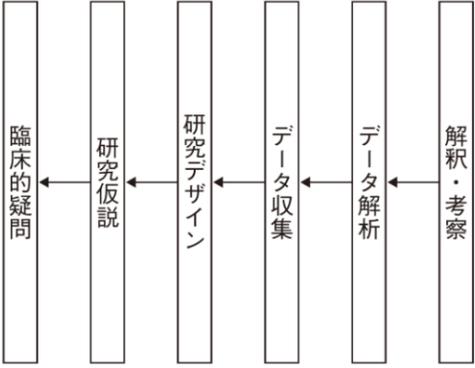
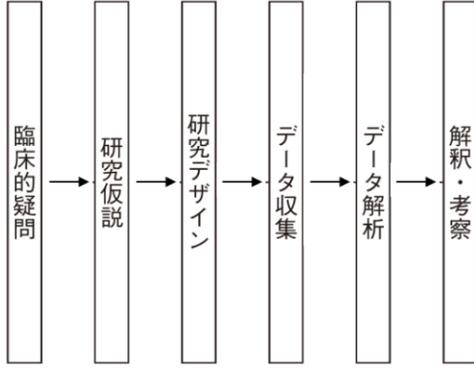


「生物統計学の道標 研究デザインから論文報告までをより深く理解するための24講」において下記の誤りがありました。  
お詫びして訂正いたします(一般財団法人厚生労働統計協会 編集部)。

2024/3/29現在

該当頁	該当カ所	誤	正
6	図1 研究のプロセス	<p>臨床的疑問から解釈・考察までの矢印の向き (←)</p>  <p>図1 研究のプロセス</p>	<p>臨床的疑問から解釈・考察までの矢印の向き (→)</p>  <p>図1 研究のプロセス</p>
94	最終行	1. 23倍高い (リスク比1. 23倍)	0. 81倍 (リスク比0. 81倍)
95	「各層」で始まる段落の10行目	1. 23倍リスクが高まる	リスクが0. 81倍となる
121	4番目の式	$(x_i, z_i, w_i)^{y_i}$	$r(x_i, z_i, w_i)^{y_i}$
134	最終行	また, $\exp(\hat{\beta}_1)$ も	また, $\exp(\beta_1)$ も
146	9行目	$2^{10}=1024$	$2^{10}=1024$
146	10行目	$2^{15}-1=32767$	$2^{15}-1=32767$
152	2~6行目	<p><math>\hat{\sigma}^2</math> は <math>y_{1j}</math> または <math>y_{0j}</math> の分散の推定値である。帰無仮説のもとでは, すべての対象者に対する収縮期血圧の平均</p> $\bar{Y} = (\sum_{j=1}^{n_1} Y_{1j} + \sum_{j=1}^{n_0} Y_{0j}) / (n_1 + n_0)$ <p>を用いて,</p> $\hat{\sigma}^2 = \frac{\sum_{j=1}^{n_1} (Y_{1j} - \bar{Y})^2 + \sum_{j=1}^{n_0} (Y_{0j} - \bar{Y})^2}{n_1 + n_0 - 1}$ <p>と <math>\hat{\sigma}^2</math> は計算される。</p>	<p><math>\hat{\sigma}^2</math> は <math>y_{1j}</math> または <math>y_{0j}</math> の分散の推定値であり,</p> $\hat{\sigma}^2 = \frac{\sum_{j=1}^{n_1} (Y_{1j} - \bar{Y}_1)^2 + \sum_{j=1}^{n_0} (Y_{0j} - \bar{Y}_0)^2}{n_1 + n_0 - 2}$ <p>と計算される。</p>
153	式の下1行目	$V[W] = \sqrt{n_1 n_0 (n_1 + n_0 + 1) / 12}$	$V[W] = n_1 n_0 (n_1 + n_0 + 1) / 12$
165	図2 サンプルサイズ設計に必要な標準化 右図	各々5%	各々10%
		各々10%	各々20%